10　国際交流

根室管内の国際交流

根室管内には多くの外国人在住者がおり、近年増加の傾向にある。中でも多いのは特定技能外国人や、技能実習生である。技能実習生は主に、食品製造分野・農業分野において受入が進んでいる。

中標津町では、令和６年８月にベトナム出身、キルギス出身の２名の国際交流員（CIR）が着任し、町内在住の外国人が住みやすいまちづくりに向けた環境整備、日本人と外国人の交流や多文化共生の推進に向けて、今後活躍が期待されている。

観光面では、海外からバードウォッチングツアーを迎えたり、羅臼町では知床世界自然遺産の英語、中国語及び韓国語のパンフレットを作成し、外国からの観光客に対応しています。

JETプログラム

正式には、「語学指導等を行う外国青年招致事業」と称され、昭和62年８月から実施しています。

主な事業内容は、地方自治体が単独事業により外国青年を招致し、小学校、中学校及び高等学校における語学指導等を行うとともに、地域住民との交流を行います。

招致する外国青年は、国際交流員（CIR）と語学指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分かれます。

全道のJET参加者数は333名（内、根室管内12名）となっています。

（令和７年（2025年）12月末現在　北海道調べ）

最近のトピック

管内でも年々在留外国人が増加しており、国際化の色が濃くなりつつあることから、将来を担う学生を対象に、外国文化に興味を持ってもらえる国際交流教室を企画。

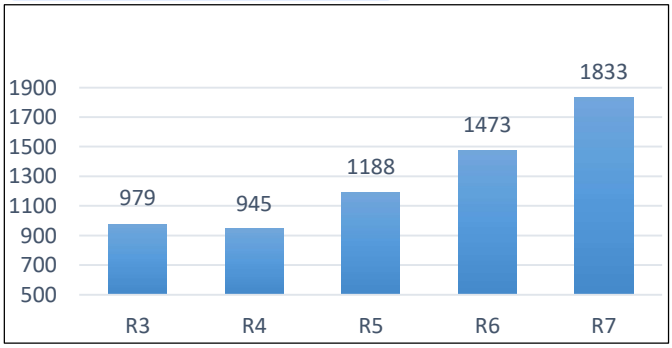
岩谷学園ひがし北海道日本語学校からは計６ヶ国の母国紹介を行ってもらい、中標津高校の生徒へ多文化の魅力を体験してもらった。また、高校生からは学生考案の「運動会」を実施していただき、交流教室を通して多文化共生の第一歩が進んでいました。

海外都市との交流状況

市町名	交流都市	提携年月日
根室市	アメリカ・アラスカ州・シトカ市	S50.12.19
	ロシア・サハリン州・セベロクリリクス市	H6.1.27
別海町	ドイツ・バイエルン州・バッサーブルグ市	S54.5.10

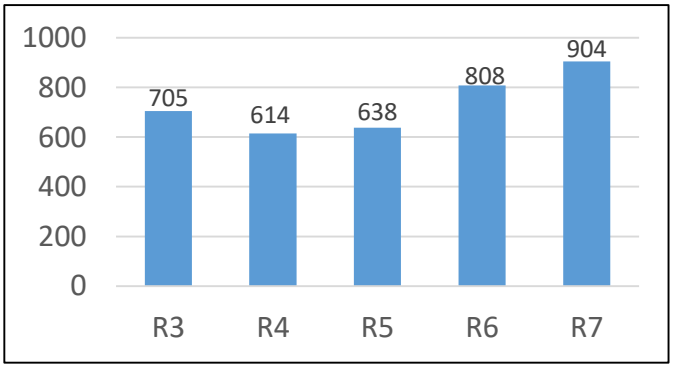
（北海道調べ）

外国人在住者数の推移



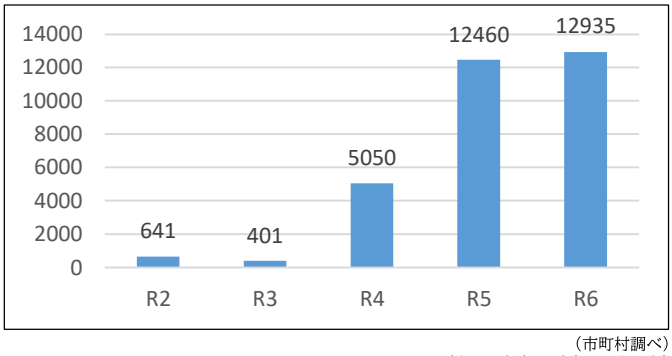
（北海道調べ）
（基準日：毎年１月１日時点）

技能実習生の受入推移



（北海道調べ）
（基準日：毎年６月末時点）

訪日外国人宿泊人数



（市町村調べ）
（令和８年(2026年)１月末現在）